

ヴァイサラ MD30 モバイル路面凍結検知 センサ

VAISALA

Product Spotlight

管轄路面のあらゆる場所の路面状態をリアルタイムで確認

ヴァイサラ MD30 モバイル路面凍結検知センサは、除雪車向けの特別設計としては初めての製品です。走行経路の路面状態、摩擦係数、路面温度に関するデータを正確に収集し、送信します。



主な特長

小型のマルチパラメータセンサ。

路面状態、摩擦係数、路面温度など、すべての主要な計測項目。

除雪車をはじめとする、あらゆる車両に適した設計。

実績のあるヴァイサラのDSCレーザ技術に基づく。

動画や画像データと組み合わせて、オンラインでビジュアル化することが可能。

ヴァイサラが選ばれる理由

ヴァイサラの気象・環境観測技術は、比類のない道路ネットワークの状況認識を実現し、季節を問わず道路を安全かつ効率的に保つことができます。

85年以上にわたるイノベーションに基づいている当社の計測機器と気象情報は、精度と信頼性の業界最高水準として知られています。私たちは、正確なデータと洞察が持続可能な道路管理と気候変動対策を推進するうえで、いかに大きな役割を果たすかを理解しています。当社の総合的なアプローチは、エンドツーエンドのシンプルさ、価値あるパートナーシップ、常に進化を続けるソリューションの包括的なポートフォリオを提供します。

道路交通のエキスパートとして知られる当社は、道路をこれまで以上に安全かつ効率的にするための新しい方法を探求し続けます。

MD30は、設置型気象ステーション間の路面状態のデータを補完するのに役立ち、管轄道路全体の路面状態を確認できます。意思決定が向上することにより、薬剤散布量や人材の配置が最適化されるため、コストの削減とともに環境への影響を低減することができます。

MD30は、除雪車をはじめとするあらゆる車両の前方部分に取り付けられます。車両の起動時に自動的にデータ収集を開始するため使いやすく、ドライバーは運転に集中できます。このリアルタイムデータは、ドライバーと監督者の両者が路面状態を改善し、時間のかかるやり直しを回避するための迅速な意思決定を行うのに役立ちます。

路面状態を正確に確認

除雪車に気象ステーションの機能を持たせ、リアルタイムのデータを得ることができるため、監督者やドライバーは刻々と変化する気象条件を推測する必要がなくなります。

除雪車向けに設計された堅牢な製品本体

車両の激しい振動に耐え、水の侵入を防ぐように設計されています。特許出願中のフードは、雪や路面からの跳ね返りからレンズを保護し、清掃を行う際には簡単に取り外せます。

路面温度など多項目を計測

摩擦係数、路面状態、水/氷/雪の膜厚、路面温度、大気温度、相対湿度、露点に関するデータをリアルタイムで送信します。

手頃な価格ですぐに導入可能

小型で、さまざまなオプションと組み合わせた取り付けが簡単に行えます。価格が手頃であるため、多くの道路管理車両に取り付けることができます。

意思決定支援や薬剤散布車の制御を目的にした統合

ヴァイサラ Wx Horizonなどの意思決定支援システムや既存の薬剤散布車制御システムの一部としてすぐに使用できます。

